

高齢者・障がい者等社会的弱者の安全・安心を確保するための意見交換会

平成22年10月8日(金)15時

七飯町役場101会議室

1. 開 会

2. 意見交換

○テーマ1「第1回SOSネットワーク模擬訓練の実施結果について」

(1) 実施日 平成22年7月12日(月)

(2) 主 催 七飯町、七飯町グループホーム連絡会

(3) 協 力 函館中央警察署生活安全課及び七飯交番

(3) 参加者 200人

(4) 内 容 午前 認知症高齢者の理解を深めるための勉強会

①「次郎さんが教えてくれたこと・・・旭川市での事例」

旭川市グループホーム「和が家」小原 陽市氏

②「認知症サポーター養成講座」

全国グループホーム団体連合会代表世話人 和田 行男氏

③「地域の安全・安心を守るため・・・地域との連携」

一般社団法人北海道認知症グループホーム協議会

会長 宮崎 直人氏

午後 SOSネットワーク模擬訓練及び検証

(5) 反省点

(6) 今後の課題

○テーマ2「高齢者・障がい者等社会的弱者が安心して住み続けられるまちをめざして」

3. その他

4. 閉 会

平成 22 年 10 月 8 日

22 年度第 1 回高齢者・障害者等社会的弱者の安全・安心を確保する為の意見交流会

趣旨 徘徊模範訓練・認知症サポーター養成講座を開催し、その後の反省や問題点を上げ次に繋げ、安心安全な町作りを目指していく。

テーマ

「第 1 回 SOS ネットワーク模範訓練の実施結果について」

運営推進会議等で参加された方の意見や感想は

- ・プライバシーの問題があり、どこまで踏み込んでいいかわからない。
- ・是非継続して欲しい。その為にも、役場の人事異動の配慮をお願いしたい。
- ・若い世代にも関心を持ってもらい、認知症の理解を広めるのも学校で教えて欲しい。
- ・行方不明者が身近におり、人事ではない。
- ・町内 1 人 2 人がわかっていても仕方ない。町内全体で取り組み、1 人 1 人の意識を高める事が大事。

他の福祉関係者の方

- ・この企画、SOS ネットワークの事業も事務所止まりで、スタッフが周知していなかった。今回 SOS ネットワークシンポジウムを開催したことにより、函館市や北斗市でも意識が高まった。
- ・七飯町の世帯全戸に配布したが、一般の方の参加が少なく、参加者 164 名のうち 7 割が福祉関係者だった。時間はかかると思うが、一般の方の参加を増やしたい。
- ・色々なネットワーク（子ども会等）があるが連携がとれていない為、広がっていない。子ども会であれば、携帯を持っている人も多いため、そのような方に周知してもらうのも良いと思う。
- ・高齢者を支える会においても、サポーター養成講座を知っている方が少なく、推進不足。認知症の理解を深めるという事に関しては、役場として対応が遅れている。
- ・社協と役場の連携を密に、情報の共有化が必要。
- ・メール発信も 24 時間、365 日瞬時に対応できる様にするために、福祉関係者（施設）に協力してもらいたいと考えている。

奥田隊長へ SOS 徘徊模範訓練を年に 1、2 回開催できればと思っています。町民の方に認知症の事を理解して頂き、声を掛けることにより、行方不明になる前に救助、保護ができればと考えます。色々な方の協力を得てネットワークを密にし、町内会、地域が社会的弱者が安心して安全に住み続けられる町を目指して、頑張っていきたいと思っています。